

創 立 昭和 32 年 4 月 19 日
会 長 高 橋 靖
会長エレクト 長 谷 川 博 章
副 会 長 米 田 常 彦
森 川 善 隆
幹 事 豊 田 博 樹
公共イメージ 松 井 大 典



事務局（例会場）

橿原市久米町 652-2 THE KASHIHARA 4F
TEL/0744-28-2801（直通）
FAX/0744-28-2802
E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp
TEL/0744-28-6636（ホテル）

例会日

毎週金曜日
12 時 30 分～13 時 30 分

Vol. 63 No. 1 (2019-20)

2019 (令和元) 年 7 月 12 日発行

第 3031 回例会報告書

2019 (令和元) 年 7 月 4 日 (木)

—ガバナー公式訪問—

【あすか RC・やまとまほろば RC との合同】

ホスト：あすか RC

司会 SAA・杉本憲秀会員 (あすか RC)
R.song 君が代・奉仕の理想
ソング・リーダー 柿本健三会員 (あすか RC)

ゲ ス ト

国際ロータリー第 2650 地区

ガバナー 佐竹力總様
幹事長 澤田明廣様
ガバナー補佐 増田善昭様

やまとまほろば RC 米山奨学生 ジン・ヒョアさん

やまとまほろば RC 交換留学生

ヴィクトリア・グレース・クヌットンさん

橿原 RC 米山奨学生 趙 信さん

橿原 RAC 会長 千装大紀さん

出 席 報 告

正会員 43 名

(7/4) 出席者 34 名 出席率 89.50%

(6/21 補正なし)

ニ コ ニ コ 箱

◎自祝金……………国際ロータリー第 2650 地区

ガバナー 佐竹力總様、
幹事長 澤田明廣様、
ガバナー補佐 増田善昭様

◎本日はよろしくお祈いします。

……………高橋 靖会員

◎佐竹ガバナー、ようこそ公式訪問においで下さいました。1 年間大変ですが、頑張ってください。

……………羽根史朗会員

◎前回の和飲会の残金がありましたので。

……………堀部光志会員

◎誕生日お祝い

矢吹吉男会員 (7/30) 福井良盟会員 (7/10)

増田善昭会員 (7/2)

◎入会お祝い

中野利昭会員 (20 年)

会 長 挨拶

<あすか RC 竹田裕彦会長>

本日、RI 第 2650 地区 2019-2020 年度 佐竹力總ガバナー公式訪問 第 1 回目として、あすか・橿原・やまとまほろば RC 合同例会にお越し頂きました。佐竹力總ガバナー様、増田善昭ガバナー補佐様、澤田明廣幹事長様ありがとうございます。

2018-2019 年度では当あすかクラブより中川基成ガバナー (パスト) を輩出させて頂きました。そんな理由で、本日は 3 クラブの代表として当あすかクラブが、ホストさせて頂きます。

2、3 日前からの天気予報では本日も大荒れ天気が続く模様とのことでしたが、早朝には雨も上がり良い天候となりました。やはり佐竹ガバナーはじめ会員メンバーの日頃の精進の賜物と感謝しております。

まず初めに、本日 10 時より、明日香の間にて、佐竹ガバナー様、増田ガバナー補佐様、澤田幹事長様とあすかクラブの会長、幹事、理事役員による懇談会が、和やかな中、ガバナーのお人柄を感じさせるお話や質問等、充実した 1 時間余りを共有させて頂いたことをご報告させて頂きます。

この後、13 時より 30 分程度ではありますが、ガバナーアドレスをして頂きます。

第 2650 地区 2019-2020 年度佐竹力總ガバナーの思い、指針をしっかりと聞かせて頂き、すばらしい一年間のロータリー活動を過ごしたいと思っております。本日はよろしくお祈い致します。

<橿原 RC 高橋 靖会長>

まずは佐竹ガバナー、澤田幹事長、増田ガバナー補佐、ようこそおいでくださいました。そして今年度ホストを務めて頂いております竹田会長をはじめとするあすか RC の皆様、今川会長をはじめとするやまとまほろば RC の皆様、そして橿原 RC の皆様、こんにち。本日はよろしくお祈い致します。

そして中川パストガバナー、昨年度は本当にお世話になりました。地区の委員会、地区大会、国際大会、それらの中で多くの学び、多くの出会い、そして多くの

楽しさを経験させて頂きました。「Enjoy Rotary」を実践して頂き、ありがとうございました。そして吉田パスト会長をはじめとするあすか RC の皆様にもご尽力頂き、素晴らしい1年を過ごすことができました。ありがとうございました。

申し遅れましたが、2019-20 年度樫原 RC の会長を努めます、高橋 靖と申します。入会は2011 年度で、今年で8 年目を迎えます。年齢は50 歳です。竹田会長や今川会長のように顔が広くないので、この機会にお見知りおき頂き、どこかで出会った際には、小心者ですので優しくご指導頂ければと思います。

この3 クラブでの合同例会ですが、2016-17 年度から始まりました。その当時の吉川パスト会長、南パスト会長、そして当クラブの米田パスト会長の3 名が英断をし、クラブの皆様のご尽力を頂き、本年度に至っています。もちろん、当初は合同例会の是非、開催の可否を含め、さまざまな議論がありましたが、ロータリーの友情をもってこの機会を設けることになったと私は考えています。ロータリアンの皆様と顔を合わす機会は IM や地区大会など多々ありますが、この3 クラブ合同例会は、3 クラブの皆様と席を近くして膝を並べて顔を見合わせる機会を持って、とても貴重だと感じています。是非この合同例会の時間を大切に過ごして頂きたいと思います。

私のような若輩者が言うのも何ですが、ロータリーには「良いことをしよう」という善意をお持ちの方が集まっていると思います。ただ、3 クラブ、そして100 名を超えるメンバーですので、クラブの方針であったり、成り立ちであったり、その年度の運動の仕方であったり、それはさまざまだと思います。時として立ち止まることもあれば突っ走ることもあるでしょう。その中で今日、ガバナーからお話し頂くアドレスはロータリーの大きな道を進む上で、当該年度の指針になるものだと私は考えています。ガバナーアドレスを頂いた今年度の今日がスタートの日ですので、皆様と一緒にロータリーの大きな道の一つの方向に向けて進んでいきたいと考えています。本日はお集りの皆様と過ごせる時間を楽しみにしています。一日よろしくお願ひ致します。ありがとうございました。

<やまとまほろば RC 今川敦史会長>

今年度、やまとまほろば RC 会長を拝命致しました今川であります。

会長エレクト研修会に参加した際に、80 歳のエレクトとお会いしました。後期高齢者の私は非常に勇気づけられました。同時に、サムエル・イルマンの「青春」のなかの「人間は年を重ねるだけで老いるのではない。理想を失ったときに初めて老いる」一節が浮かんできて、新たな目標を与えて頂いたと感激しております。

先ほどは、佐竹力総ガバナー、澤田明廣幹事長、増田善昭和ガバナー補佐をお迎えして、会長・役員懇談会においてご指導頂きありがとうございました。

当クラブは、2014 年4 月に設立された若いクラブであり、先の5 周年記念式典には大勢の方々にご出席頂き、お祝いをして頂きありがとうございました。ちょうど、新元号「令和」とともに新たな理想、目標をもって進んで、佐竹ガバナーの掲げておられる新しい伝統

を築いていくクラブであります。

会員の高齢化が進んでおりますので、会員増強が大きな課題のひとつであります。クラブとしては会員の増強について年度を超えた目標を設定し、50 人まで頑張ろうと協議しているところであります。このことによりクラブの活性化を図りたいと考えております。

若いクラブでありますので、地域での認知度は高いとは言えませんので、地域での奉仕活動を充実し、地域での公共性と認知度の向上に邁進したいと考えております。

最後に、私どもの会員も diversity (多様性) に富んでおりますので、この diversity を生かして、会員同士が知恵を出し合って、佐竹ガバナーの基本理念であります「奉仕と親睦(友情)」に基づき、会員がアクティブに、心豊かなクラブライフを楽しみながら、充実したクラブ運営ができたらと願っております。

皆様方のご指導、クラブ会員のご協力あつてのことです。よろしくお願いいたします。

「ガバナーアドレス」

— Governor's Address —

国際ロータリー第2650 地区

佐竹力総ガバナー



ただいまご紹介頂きました京都 RC の佐竹力総です。私の持ち時間は26 分くらいしかございませんので、早口でいろいろ申し上げたいと思います。

記念すべき令和最初のガバナーを仰せつかりまして大変名誉なことです。私はこれまでの歴代のガバナーに比べ、特に先代の中川さんに比べまして、浅学非才で何もありません。あるとすれば、ただ声が高く背が高いだけです。名前が力総と書きまして、声が高く背が高く、力をすべて発揮するというのが私の特徴です。

私の仕事は料理屋でして、もともと鰻屋なんです。逃げ足が速かったんですが、京都 RC に鰻掴みの漁師がおりまして、がばっとつかまれて今ここにおります。

私だけでは頼りないので、幹事長は澤田幹事長で仕事は「石屋」です。特に墓石とかお寺のいろんな石をやっている、京都で一番大きなお店です。皆さん何かございましたら・・・。名前は「澤吉」です。私のところは料理屋で「美濃吉」、彼は「澤吉」でともに「吉」があつてハッピーです。

今日は、いつもお世話になっております増田ガバナー補佐もお越し頂いております、一年間、よろしくご

指導ご鞭撻をお願い致します。

私の地区スローガンは「伝統と革新—世界は一つ—」です。私は実は72歳で、今度73歳です。そこにおられる榎原 RC の羽根さんも同じ JC で、一緒に悪いことではなく、良いことをしていきまして、青年の船に一週間乗っていました。久しぶりにお会いして、お元気で嬉しく思います。

知識はありませんが、人生経験は72年間ありますので、そのあたりは話せると思います。私がロータリーで感じたことを率直にお話したいと思います。

私のロータリーの入会動機というのは、学生時代に家がレストランをしていまして、駐車場が広がったので、そのアルバイトを土日にしていました。そこにいろんなお客さんが来られて、アメリカの外車に乗って奥さんを連れて来たり、綺麗な芸者さんを連れて来たり、ここに金バッジがついているんですね。ロータリーバッジというのをはめておられて、その時に（学生時代）、あんなに格好のいいおじさんがいるんだなと思って。何ですかと聞いたら、「ロータリーに入っている」と。お客さんが来られたら、必ずロータリーの何々ですと言われるんですね。学生にとってロータリーってすごいなと思って、なんであんな美人つれてうちに来れるのかなと、それが憧れでした。それが、ロータリーがすごいなと思った瞬間です。

同時に、うちの親父が京都 RC に入会することができました。学生時代でも、非常に嬉しかったです。クリスマス家族会などもあり、京都 RC は当時280人くらい、家族会で600人くらい、うわーっとなってます。しかも、マスコミに出ている有名な人がそのへんに一杯いるわけです。うちのおばあさんが参加したときに、最後、「手に手つないで」をやりますね。そのときにおばあさんがあまりに嬉しくて涙を流しているわけです。京都 RC に入って嬉しいという、今でもそれが胸に残っています。

当時、大宗匠、今の千玄室さんのお若い頃で、バリバリでして、今年96歳になるわけですが、その方とも一緒にいろいろやらせて頂きました。千玄室さんはいつも言われますが、ロータリーは善意奉仕の心なんです。理由は知らないんです。善意奉仕の心でロータリーをやっているだけなんです。それが私は非常に印象に残りまして、お陰で33年間、ロータリーに入らせて頂いています。

京都 RC の自慢ではないのですが、日本で五番目に発足しまして、今年で94年目を迎えます。会員数は200名で、すべて男なんです。歴代ガバナーは私で13人目でして、今までも有名な方がガバナーでした。千玄室さん、イセトーの小谷さんも RI の理事でして、堀場雅夫さんもガバナーでして、きらびやかなガバナーが京都 RC から輩出されています。

そして、素晴らしいことは、私どものクラブは例会の出席率が今でも99.5%なんです。200人が毎週99.5%。2、3年前まで100%でした。いろいろ体の事情がある方もあってそうなりましたが、例会重視のクラブです。

特に千玄室さんは96歳でお誕生日が4月19日、ポール・ハリスと同じ日なんです。それは別にして、千さんはロータリーに入って64年になる中、全部例会出席なんです。64年間ですよ。メーキャップもされてですけども。

それから堀場さんも亡くなりましたが、Eクラブでメーキャップしてそれも64年間、皆出席なんです。だから京都 RC では、例会は出席するものであるということが鉄則なんです。

堀場さんが「なんで佐竹君、例会出ないのか。」と言うので、私が「いや、仕事が忙しくて」と言うと、「アホか」と言われるわけです。

40年前はソ連に工場があったんですね。堀場さんは、そこの提携するときでも、ソ連にロータリーがないならスイスに行く。日本でも東京、大阪、京都くらいしかロータリーがない時代です。そんな中メーキャップしながら、堀場製作所を大きくされています。

千玄室さんは裏千家の茶道の大宗匠ですけど、全世界で80万人いるんですね。それを毎週ロータリー出席にしてやっていると。それなのに君は何の仕事をしているのかと言われるわけですね。

時間の使い方、精神的な問題だ、何が忙しいんだという京都 RC の強烈なパンチなんです。だから、日銀の支店長であろうとなんであろうと、全部皆出席が原則でして、それを京都 RC が守っているわけです。

それから大事なものは職業奉仕です。特に京都 RC では、職業奉仕。ロータリーというのは、地域の業界で選ばれた職業人が集まって、例会を通じていろいろ切磋琢磨をして、仕事を通じて世の中に貢献するのがロータリーの基本なんです。ただ奉仕するからロータリーに入るという人はなくて、仕事ありきがロータリー。自分の仕事をちゃんとすることが結局、奉仕につながるということが大原則なんです。

2016年の規定審議会から、今までのように例会や職業奉仕を重視してきたことから、自主性と柔軟性という、まあ好きにきなさいという、そっちに開いていています。私は足が長いので、股裂きはできますけども。

日本とあまりにも違うということを、是非確認して頂きたい。ただやっぱりロータリーとしてのアイデンティティーは何かを考え続けたいといけない。今までのように単なる奉仕団体でいく、同じことになるわけで、あるいはもっと人道的支援団体もあるわけです。アイデンティティーをもう一度確立せな駄目だなというのが私の意見です。

そのあたりが私の今までのロータリーの経験でして、とはいっても、私は今はガバナーで、地区で唯一の RI の役員なんです。飲食店でわかりやすく言うと、オーナーがいるフランチャイズ店を担当する地区の責任役員みたいなもので、RI のことを皆さんにお知らせしたいと思うわけです。

皆さんの方にお配りしている2650地区ガバナーアドレスという用紙を読めばわかるんですが、マーク・ダニエル・マローニー会長のテーマ、「ロータリーは世界をつなぐ」ということがテーマでして、わかりやすいですね。ロータリアンは今世界で120万人おられるわけですね。120万人いる奉仕団体というのはロータリーが唯一なので、それを全員つないでいこうというのがマローニー会長のわかりやすい方針です。

マローニー会長の基本事項は4つありまして、1つはロータリーを成長させること。これは全世界一緒に会員が減っています。若い人が入らないので、どうすればいいかということが世界的に考えておられます。

その一つとして柔軟性を利用して、特に若い人の入会を促すために家族との時間、仕事の共有ができる新しいスタイルのクラブを作るとのこと。今の若い人は仕事が忙しくて家庭も大事にしないと駄目だということで、そういう人でもできるようなロータリークラブを作りなさいというのがロータリーの一つの方針です。

それから2番目はローターアクトクラブですね。ローターアクトを次のロータリアンに持っていきこうと。

3つ目は、ポリオ根絶です。今年から絶滅から根絶に変わりました。99.9%と間近に来ていますが、あとの0.1%が大変で、アフガニスタンとパキスタンについて、国境で紛争をしています。300キロあるんですね。その紛争地帯に入れないということで、そこさえできれば地球上からポリオがなくなるということです。これができればノーベル平和賞にふさわしい大事業です。そこまで来てますが、あとの0.1%が大変だということです。

それから4番目が「世界を変える行動人キャンペーン」の実施。これは各地区でやっている奉仕事業ですね。それを今までは陰徳の美德で、人に言わなくてもいいよということで。ロータリーは全世界、知名度は70%の方がご存じなんです。しかし何をやっているかを60%はご存じないわけで。せっかくいいことをやっているのですから、奉仕事業をSNSを通じてどんどん発信していこうということです。

そして、ロータリーで大事なものは中核的価値観ですね。これは5つあります。親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ。親睦と奉仕は皆さんわかるわけで、高潔性は高い職業水準です。多様性はダイバーシティで地域の専門性の集まり。リーダーシップは世界的指導ということ。中核的価値観でやりなさいということが国際ロータリーです。その中で柔軟性を考えてやってくださいということです。

大事なものは2017年の6月にロータリーの新ビジョン声明がありまして、中核的価値観の中でビジョンに沿ってやってください。ビジョンとは、私達ロータリアンは、世界で、地域社会で、自分自身の中で持続可能な良い変化をするために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しますということです。

そうするとRIの目指している国際ロータリーの使命は、職業人として、地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

ついでですが、My Rotaryの登録をお願いします。中川ガバナーも言われていました。何でも情報はMy Rotaryに入ります。

国際ロータリーのテーマとしては、非常に簡単でJoin leaders, Exchange ideas, Take actionです。これに基づいてやってくださいとのこと。ご案内としては私が分かりやすく一枚にまとめました。

これと日本です。どういう風にやっていくかということは、皆さん、それぞれ文化度がありますので、それぞれの地域の良いところを取って頂いて、どういう方向に持っていくかということです。

私は、1月に一週間、国際ガバナーの研修会に行っただんですが、京都RCは古典的なんです。あまりにも欧米との違いがあつてびっくりしました。ハンマーで頭をガンと殴られたくらいにびっくりしたんです。

よく考えますと、今のRIの規定審議会は、各地区に1名、指名委員が出る権利があるわけですね。今度の3月に3年目の規定審議会がありまして、うちの地区から1人、坂本元ガバナーが出られたわけですね。34人、日本に票があるわけですね。世界には540人いるわけですね。だから、540人の中の34人しかないという事実があるわけですね。出席率の問題も、世界の流れがあるので、それを日本がどのようにしていくかが課題になるわけですね。

いつの時代にも我々は変化していかなければ駄目です。適応と変化があるのですか、適応が大事です。変化はただ時代に合わせるだけですが、適応は、この核だけ譲らないというところを作って、後は時代に合わせるというのが適応なんです。ですから、全世界はRIの決まったことが流れなので、日本のロータリーがきちんとしすぎているわけで、それで果たしてどうしていくべきかは、皆さん、それぞれ考えて頂きたいと思うわけですね。

アップル社とコダック社の話がありまして、コダック社はコダックフィルムの会社ですが、アップル社にガンとやられて、10年くらい前に破産してつぶれたんですね。なんぼ我々京都RCに例えるにしても、コダック社のように良い物を持っていても何も変化しなければつぶれます。

2007年からアップル社のiPhone、スマホですね。全部そういう社会に一気に変わっているわけですね。日本の家屋でも畳や、トイレにしてもあつという間に西洋の便器になったり。今では日本の便器に座る方はいませんね。2000年間の日本の文化があつても一気に変わる。その怖さがあるわけですね。全世界的にはRIの方針が変わってくることは、全世界の120万人のロータリーが変わっていくわけで、日本だけががんばってもなかなか変化についていけないというのが現状です。

古くて古いものも滅びるし、新しく新しいものも滅びるし、やはり古くても新しいものは永久に不滅なので、伝統と革新はどここの企業でも、うちも300年の歴史があるんですけども、何も「のれん」だけでご飯を食べているのではなく、常に改革をしているわけですね。皆さんの会社と同じなんです。

ロータリーでも良いこと、悪いことがあつて、悪いことは改革しなければならぬので、それにあえて伝統と革新ということをつけまして。伝統とは革新の連続なんです。もうそれは、ロータリーのことを考えなくても、皆さんの企業に置き換えたらすぐにわかることなので。ロータリーもまさしく世界がそういう方向に行っているのだから、目くらまして喧嘩するのではなく、世の中はこういう流れになっているのだから、我々はどういう風に合わせようかと、鷹揚の気持ちでいかんことには、これから駄目だろうということです。

伝統と革新、世界は一つ、世界は120万人がつながっている、これは我々ロータリーの唯一の誇りでして。これだけつながっている世界的奉仕団体はないわけで、それぞれ皆さん、今後、長期ビジョン委員会でも作って頂いて、伝統と革新、世界は一つということで、是非一年間頑張ってください。時間を切にお願いしたい。時間が来たので、終わらせて頂きます。ありがとうございました。



【会長・幹事・役員・出向者懇談会】

【例会ご案内】

7月19日(金)
休会

7月26日(金)《第3例会》
フォーラム

8月2日(金)《第1例会》
新入会員自己紹介
担当：会員増強委員会

8月9日(金)・8月16日(金)
休会

8月23日(金)《第2例会》
納涼例会
担当：親睦活動委員会

【同好会】

書道同好会

7月12日(金)・8月2日(金)・8月30日(金)
午後2時～ 於：4階 楓の間
※8月2日(金)のみサテライトルーム

【RAC 例会】

〔橿原オークホテルにて、午後8時～9時15分〕
7月24日(水)《第2例会》
「奈良ゾーン代表公式訪問例会」
19:00 登録開始、19:30 開会、21:00 閉会
於：橿原オークホテル

8月7日(水)《第1例会》
ビアガーデン例会

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。